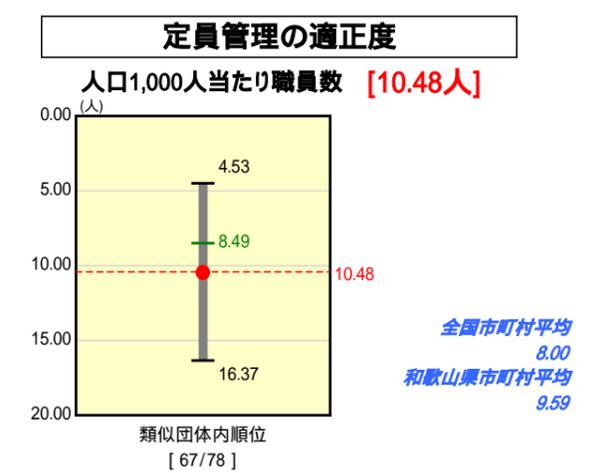
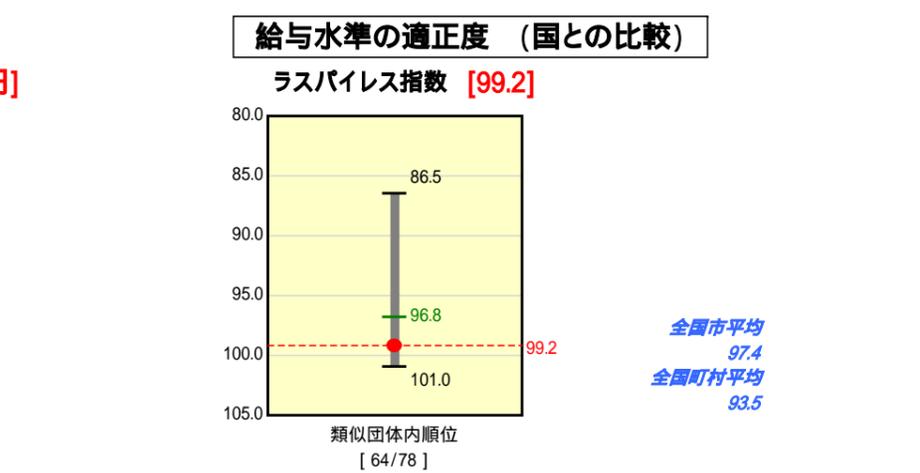
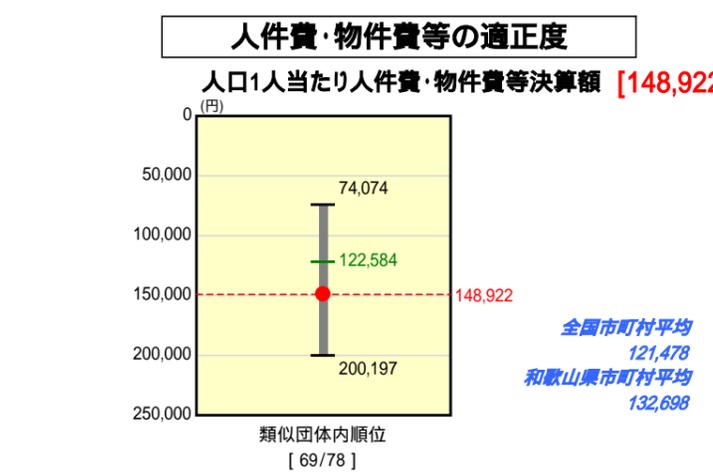
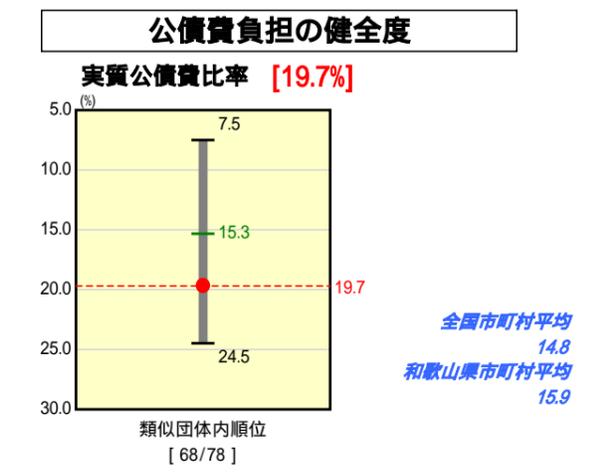
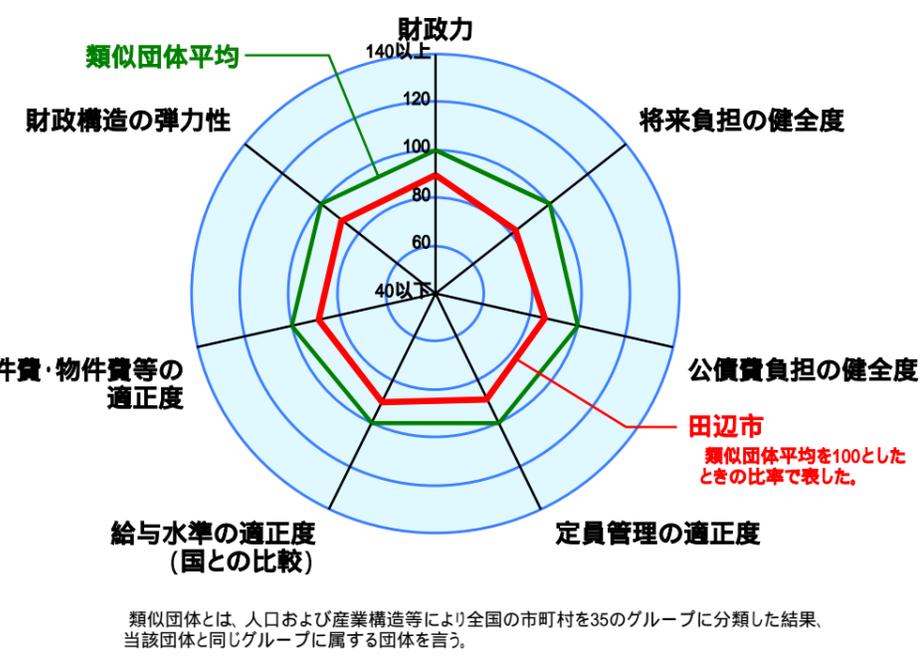
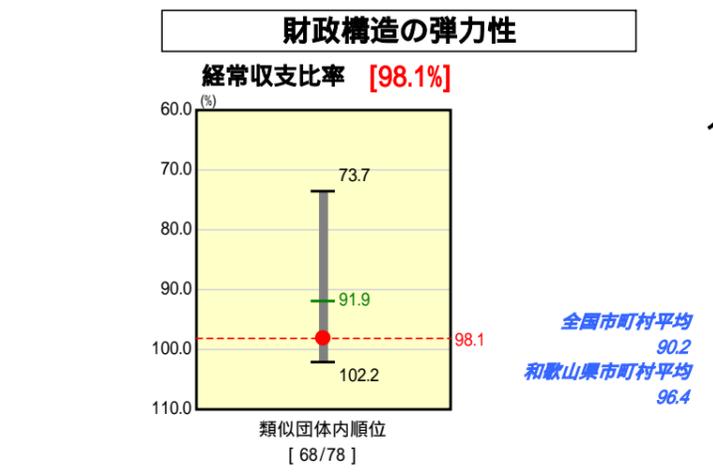
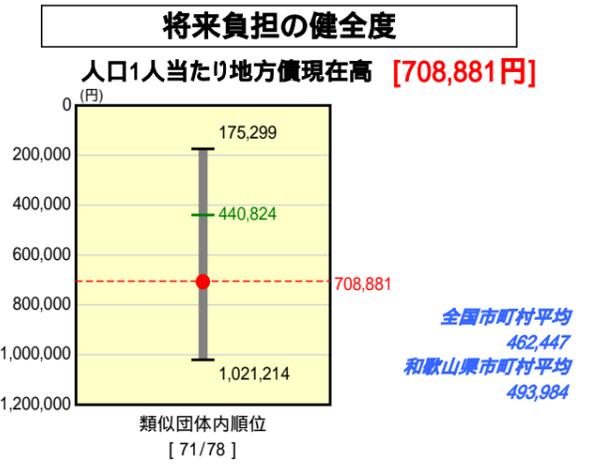
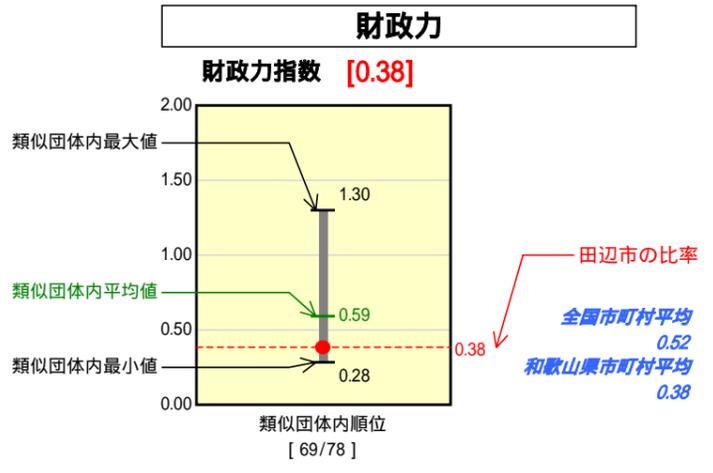


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

和歌山県 田辺市

人口	85,210	人(H18.3.31現在)
面積	1,026.74	km ²
歳入総額	47,439,719	千円
歳出総額	46,490,391	千円
実質収支	779,256	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
平成17年5月1日に5市町村が合併し、依然、過疎化や高齢化といった状況の中、類似団体や全国市町村平均と比べて下回っている。合併後は、合併効果による歳出の見直しを進めるとともに、税収の徴収率向上に向けた取組を進めているところである。

【経常収支比率】
合併効果により前年度と比べ若干の改善がみられるものの、普通交付税や臨時財政対策債の大幅な減少に加え、扶助費などの義務的経費の占める割合が高いことや国民健康保険、介護保険事業への繰出金の増加により、依然として高水準となっている。合併後の進めていくべき行政改革の基本方針として行政改革大綱を示しているところであり、民間委託等の推進、組織、機構の見直し、定員管理の適正化、経費の節減合理化等財政の健全化を図る。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
合併前に比べ、議員定数、特別職等や合併準備経費の減少により、人件費や物件費が減少しているが、類似団体や全国市町村平均と比べ、依然上回った状況となっている。今後は、定員管理の適正化や一層の経費節減合理化により職員数や物件費の削減に努める。

【ラスパイルズ指数】
類似団体や全国市町村平均と比べ、若干上回った状況となっている。今後は給料体系の調整も含め、適正化に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】
生活基盤の整備を行うために必要な財源として地方債を発行しており、類似団体や全国市町村平均と比べて上回った状況となっている。今後の事業実施においては、合併協議における市町村建設計画を尊重しながら、まちづくりの基本指針となる第1次田辺市総合計画を策定しており、また公共事業再評価委員会での検討等を行いながら事業に取り組む。

【実質公債費比率】
合併前からの生活基盤整備に係る各種大型事業や近年の景気対策を含めた事業実施における財源として発行した地方債の元利償還金や準元利償還金が発生していることに加え、比率の算出上において標準財政規模や臨時財政対策債が減少したことにより類似団体の中でも高い数値となっている。今後の事業実施においては、第1次田辺市総合計画に基づき実施し、また地方債の計画的な発行に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
消防業務の受託等の影響もあり、類似団体や全国市町村平均を上回っている。今後は、定員適正化計画に基づき、適正な職員の定員管理に努める。